

髪の規定がある理由について

つな髪では寄付いただく髪に規定を設けております。

他ヘアドネーション団体より厳しい規定ではありますが、当活動の取り組みをご理解の上ご協力をお願いいたします。

一般的な髪の加工処理（他ヘアドネーション団体）

他団体は様々な薬品を使用しキューティクルを剥（は）がしたり

染毛（せんもう）などを施し髪質や髪色の状態を均一にしています。

この処理を行うことで幅広い年代や髪色のヘアドネーションを受け付けることが可能になります。

また、髪のキューティクルを剥がすことで髪が絡むのを防ぎ植毛がしやすくなるメリットがあります。



《参考ページ》：ジャーダック様 トリートメント処理工程レポート

<https://www.jhdac.org/treatment.html>

ジャーダック参考ページ

QR コードからご覧いただけます

つな髪 髪の加工処理

一方、つな髪は髪に対して「殺菌」と「消毒」しか行いません。

髪のキューティクルを剥がしたり、染毛などは行わず、髪本来の質感や自然な色合いをそのまま残すことを大切にしています。

そうすることでより自然なウィッグを作ることができますし、キューティクルを剥がしてしまう人毛より耐久性が高く、熱にも強いのでヘアアイロンを使ってヘアアレンジなど楽しむことができます。

もちろんウィッグに植毛する時はキューティクルの向きを揃えないと髪が絡んでしまうので一本一本丁寧に植毛しなくてはいけない手間もかかります。それでも、より自然なウィッグを子どもたちに届けたいという想いでできるだけ髪にダメージを与えない処理にこだわって製作しています。

寄付された髪はほぼそのままの状態子どもたちのウィッグとして使用されます。そのためつな髪では「子どものウィッグ」という目線で様々な基準を設けさせていただくことになりました。

どちらの団体が良いということではなく、

ヘアドネーションやウィッグに対する考え方の違いによるものであることをご理解いただければと思います。



髪質の基準について

つな髪が設けている基準についてそれぞれの理由を説明させていただきます。

黒色や濃い茶色しか受け付けていない理由について

日本の子どもたちのほとんどが黒色、または濃い茶色の髪だからです。地毛がもともと明るい色のお子さんの場合はそのお子さんの希望の髪色にヘアカラーしてプレゼントしています。



白髪や白髪染めの髪を受け付けていない理由について

加工の時点で髪の染毛を行っていないため、白髪が混じっているとウィッグを作る時に白髪が混じり込んでしまいます。また白髪染めされた髪の場合も、のちに染料が落ちて白髪に戻ってしまいますので子ども用のウィッグとしては好ましくありません。



くせ毛やパーマを受け付けていない理由について

加工の時点でストレート処理を行っていないため、ストレート処理の必要がない髪質（ストレートの髪）を受け付けています。また、くせ毛はうねり方や髪質が様々でウィッグの製作は難しいため、プレゼント対象のお子さんがくせ毛の場合は、髪にパーマを当ててくせ毛風に仕上げしてお渡しています。



《参考ページ》つな髪：寄付の髪についてご理解とご協力をお願い

<https://www.organic-cotton-wig-assoc.jp/15985216049085>

つな髪参考ページ

QRコードからご覧いただけます

